

プレスリリース メットラー銀行 (和文)

(以下は当社のグループ会社であるメットラー・アセット・マネジメント GmbH の 2021 年 11 月 3 日付リリース文の翻訳です)

この度国際財務報告基準財団 (以下、IFRS 財団) がフランクフルトに国際サステナビリティ基準審議会 (以下、ISSB) 設立を決定しました。私共メットラー銀行としてはこれを大いに歓迎します。ISSB は、金融業界におけるサステナビリティのための国際基準を策定します。IFRS 財団は、高レベルのグローバル会計基準設定を目的に設立された非営利の民間団体です。今回の ISSB 設立を通じ、I F R S 財団は、国際的に認知された統一的なサステナビリティレポートの重要性が高まりつつあることを改めて強調していくことでしょう。

弊行の役員であり、アセットマネジメント部門担当パートナーでもあるゲアハルト・ヴィースホイは次のように申します。「私共は、IFRS 財団がフランクフルトを本部に定めたことを大変喜ばしく思います。個人的にもこの決定が歴史的観点からも意義深いものになると確信しています。今後フランクフルトは、金融センターとして、持続可能な金融経済を形成する上で先駆的な役割を果たし、将来的には、サステナビリティ基準の世界的な報告標準を形成する金融センターになるでしょう。」メットラー・アセット・マネジメントでは、「サステナビリティ」が 20 年以上も前から重要な役割を果たしています。メットラー・アセット・マネジメントの投資プロセスにおいては、純粋な財務データに加えて、企業が環境、社会、コーポレート・ガバナンスの面でどのように対処しているか (ESG 基準) を考慮に入れています。

フランクフルトからの公式申請に際しては、「フィナンシャルセンター・イニシアチブ・フランクフルト・マイン・ファイナンス」、「バリュー・バランスング・アライアンス」、そして「フランクフルト経済開発公社」が協働し、また、この申請には、金融セクター、産業界、政治、科学、そして市民団体から 180 人以上の賛同者が集まりました。フランクフルトは、カナダ、日本、韓国、イギリス、スイスなどの競合都市を抑えての選出となりました。



アセットマネジメント部門担当パートナー ゲアハルト・ヴィースホイ

【ご留意事項】

1. 本資料は、投資一任契約を踏まえた上で、メッツラーグループが提供する情報をメッツラー・アセット・マネジメント株式会社が翻訳・作成したものです。
2. 本資料は、特定の年金基金及び機関投資家向けに作成したものです。
3. 本資料は、当社が金融市場に関する情報提供のために作成した資料であり法令に基づく開示資料ではありません。
4. 実際の投資には、有価証券の価格変動、流動性、信用、カントリー、為替変動等の諸リスクが発生し、損失が生じる場合があります、投資元本を割り込むこともあります。
5. 手数料・費用等の投資家の負担は、個別の投資一任契約により異なりますので、その合計額や上限額をあらかじめ表示することはできません。
6. 契約の際には事前に契約締結前交付書面等を必ずお読みください。
7. 本資料に掲載された内容、意見、予測は今後予告なしに変更される場合があります、当社はその変更等に起因する損害について一切責任を負いません。
8. 害について一切責任を負いません。
9. 本資料は信頼できると判断される情報に基づき作成していますが、当社はこれら情報の正確性や信頼性、完全性を保証するものではありません。
10. 本資料で紹介している運用実績等は、過去の実績によるものであり、将来の運用成果の獲得を示唆あるいは保証するものではありません。
11. 本資料の全部又は一部を、当社の事前承諾なしに複写、複製若しくは配布することを禁じます。